

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県 赤穂市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	赤穂市文化遺産総合活用推進計画	【計画の改善時期】 平成 30年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
赤穂市総合計画（平成23年策定、平成28年中間改定）、及び赤穂市教育振興基本計画（平成23年策定、平成28年中間改定）を踏まえ、かつ平成28年度～平成29年度にかけて策定作業を進めている赤穂市歴史文化基本構想も参酌しながら、地域の歴史文化遺産の次世代への確実な継承と、地域の活性化や地域コミュニティの形成に寄与するため、下記の取組を実施する。 また、事業の実施によって、市民が地域の多様な歴史文化遺産を認識し地域づくりへの活用の気運の醸成や、文化遺産を地域の魅力として活用できるような基盤整備、人材育成、情報発信を行えるような体制確立を目指す。 これまでは、赤穂市の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化実行委員会を事業主体として赤穂市文化遺産を活かした地域活性化事業を実施してきたが、これらの取組を継承しながら新たに5年間の事業計画として実施する。			
6 実施体制			
実施計画にかかる全体の企画・調整や、各事業実施における指導・監督等については、以下の担当課が行う。 教育委員会生涯学習課文化財係：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等。事業者となる実行委員会等との指導・連絡・調整、関係部課との連携。 また、補助事業は下記の団体が実施する。 赤穂市文化遺産総合活用推進事業実行委員会 構成団体（中広獅子舞保存会、中山獅子舞保存会、さこし民俗芸能伝承の会、地域伝統文化保存事業実行委員会）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 7,356 千円	平成30年度申請額： 9,211 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
市民の文化遺産に関する関心や意識が向上し、現在策定を進めている歴史文化基本構想に基づいた地域の文化遺産の保護・継承と活用を総合的・持続的に実現できる基盤整備が期待できる。 また、『赤穂市総合戦略』（平成27年度策定）において、人口減少に歯止めをかけ定住人口の増加を図るための取組の一つとして、地域資源を活かした観光振興によって地域ブランド力の向上を掲げている。観光入込客数は、平成25年が1,500千人（年間）を5年間（平成31年度）で2,080,千人（年間）を目標としており、文化遺産を総合的に活用することによって、本市の観光振興にも寄与することができる。 さらに、文化遺産の保護継承と活用のための体制づくりとして、継承のために用いる用具の修理や新調等の整備を図ることによって、伝統文化の保護にかかわる人の拡充が期待でき、人口の社会減のなかで、現在伝統文化の継承を行っている保存会等の数（約30団体）及び各保存会の構成員の人数を現状維持していくことを目標とする。 また、平成29年に開催した「第1回赤穂市伝統文化祭」では予想をはるかに上回る約700人の観衆が集まり大盛況であったため、平成30年度からは会場変更等により、さらに規模を拡大して実施することにより、より多くの来場者が見込めるとともに、新聞報道等で取り上げられることにより、市内外に地域の魅力を発信することが期待できる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
歴史文化基本構想策定事業では、平成29年度に構想を策定し、平成30年度に報告書・パンフレット印刷のほかワークショップ等の事業を実施する。歴史文化基本構想のなかでは、地域の獅子舞等の伝統文化について大きく取り上げており、本事業は構想に沿った事業として位置付けられるものである。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	赤穂市 赤穂市教育委員会 生涯学習課（文化財係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	天和獅子舞保存会の会員数			関連事業:	①、②	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 60 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 60 人					
設定根拠 1 :	鷗和地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
63 人	人	人	人	人	人	
105%						
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	木津獅子保存会の会員数			関連事業:	③、④	
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 28 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 28 人					
設定根拠 2 :	木津地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
28 人	人	人	人	人	人	
100%						
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	中広獅子舞保存会の会員数			関連事業:	⑤、⑥	
目標値 3 :	【現状値】 平成 29 年度 31 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 31 人					
設定根拠 3 :	中広地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	中山獅子舞保存会の会員数			関連事業:	⑦	
目標値 4 :	【現状値】 平成 29 年度 24 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 24 人					
設定根拠 4 :	中山地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

目標区分 5：	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 5：	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 5：	さこし民俗芸能伝承の会の会員数		関連事業：	⑧、⑨	
目標値 5：	【現状値】 平成 29 年度 20 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 20 人				
設定根拠 5：	坂越地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定				
進捗状況 5：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人
目標区分 6：	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 6：	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 6：	市内の獅子舞等の保存団体の数		関連事業：	⑩、⑪、⑫	
目標値 6：	【現状値】 平成 28 年度 30 団体 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 30 団体				
設定根拠 6：	市内の人口社会減の状況から、現状維持を設定				
進捗状況 6：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
30 団体	団体	団体	団体	団体	団体
100%					

8（2）実施事業の概要 別紙

事業①：		天和獅子舞伝承事業				実施団体：		天和獅子舞保存会			
事業区分：		後継者養成				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		保存会の会員を対象にして、平成8年3月に赤穂市指定無形民俗文化財とされた鳥撫荒神社獅子舞を次世代に継承するため、獅子頭の独特の捻りの技法や笛・太鼓の技術指導を行った。									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）						（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：		天和獅子舞保存会の会員数									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 60 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 60 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
63 人		人		人		人		人		人	
5%											
事業②：		天和獅子舞伝承事業				実施団体：		天和獅子舞保存会			
事業区分：		用具等整備				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		天和獅子舞の伝承のために用いる用具等を整備し、獅子舞伝承の基盤整備をおこなった。									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）						（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：		天和獅子舞保存会の会員数									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 60 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 60 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
63 人		人		人		人		人		人	
5%											
事業③：		木津獅子伝承事業				実施団体：		木津獅子保存会			
事業区分：		後継者養成				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		木津地区に伝わる獅子舞の保全・継承のため、担い手となる新規会員の募集を積極的に行う。技術継承のための練習は、修繕の対象となっている獅子等の用具を使用して、9月中旬から10月上旬にかけて行い、新規会員へは古参の会員からの指導により後継者の育成を図った。									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）						（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：		木津獅子保存会の会員数									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 28 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 28 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
28 人		人		人		人		人		人	
0%											

事業④：		木津獅子伝承事業			実施団体：		木津獅子保存会				
事業区分：		用具等整備			事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：		獅子舞の伝承と後継者育成のために必要となる用具等を整備し、獅子舞伝承の基盤整備を行った。									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）				（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標：		木津獅子保存会の会員数									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 28 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 28 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
28 人		人		人		人		人		人	
0%											
事業⑤：		中広獅子舞活性化事業			実施団体：		中広獅子舞保存会				
事業区分：		後継者養成			事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：		伝承されてきた中広獅子舞の担い手を育成するため、保存会への新規加盟者及び経験の浅い者を対象とし、技術向上のための練習を行う。期間は、9月中旬～10月上旬とし、指導役となる師匠が鼻高・舞子が指導を行うとともに、太鼓、笛についても練習を行い、その成果を祭礼当日に披露する。									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）					（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標：		中広獅子舞保存会の会員数									
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 31 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 31 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
人		人		人		人		人		人	
事業⑥：		中広獅子舞活性化事業			実施団体：		中広獅子舞保存会				
事業区分：		用具等整備			事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：		中広獅子舞を継承するために用いる用具を新調・修理することにより、継承のための基盤整備を行う。									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）					（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標：		中広獅子舞保存会の会員数									
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 31 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 31 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
人		人		人		人		人		人	

事業⑦：		中山獅子舞保存会継承事業			実施団体：		中山獅子舞保存会				
事業区分：		用具等整備			事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：		中山獅子舞を継承するために用いる用具を新調・修理することにより、継承のための基盤整備を行う									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）				（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標：		中山獅子舞保存会の会員数									
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 24 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 24 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
人		人		人		人		人		人	
事業⑧：		さこし民俗芸能伝承事業				実施団体：		さこし民俗芸能伝承の会			
事業区分：		後継者養成				事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		伝承されてきた「鳥井町の曳きトンド」・「坂越盆踊り」の担い手を育成するため、保存会への新規加盟者及び経験の浅い者を対象とし、技術向上のため指導役となる講師を招聘し、樽太鼓・三味線・尺八など囃子や踊りの練習を行う。									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）						（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：		さこし民俗芸能伝承の会の会員数									
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 20 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 20 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
人		人		人		人		人		人	
事業⑨：		さこし民俗芸能伝承事業				実施団体：		さこし民俗芸能伝承の会			
事業区分：		用具等整備				事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		「鳥井町の曳きトンド」・「坂越盆踊り」等の民俗芸能を継承するために用いる用具を新調・修理することにより、継承のための基盤整備を行う。									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）						（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：		さこし民俗芸能伝承の会の会員数									
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 20 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 20 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
人		人		人		人		人		人	

事業⑩：		地域伝統文化保存事業			実施団体：		地域伝統文化保存事業実行委員会				
事業区分：		普及啓発			事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：		各年度において、各地域の伝統文化を集めて公開披露する取組や、映像記録作成の成果について、広く普及活用する。									
評価指標区分：		・フェスティバル出演団体の保存会会員数					(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：		全市的な人口社会減の状況から、出演団体の保存会会員数の現状維持を目標とする。									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 600 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 600 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
600 人		人		人		人		人		人	
0%											
事業⑪：		地域伝統文化保存事業			実施団体：		地域伝統文化保存事業実行委員会				
事業区分：		記録作成			事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：		映像・音声による記録を作成し、将来に亘って記録保存、伝承・後継者育成及び広報・普及活用に資する。									
評価指標区分：		・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等							(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：		記録映像の貸し出し（又は利用）回数等									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 10 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 30 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
10 人		人		人		人		人		人	
0%											
事業⑫：		地域伝統文化保存事業			実施団体：		地域伝統文化保存事業実行委員会				
事業区分：		記録作成			事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：		制作された素材を赤穂市のホームページに情報・記録提供することにより、普及版映像の閲覧を可能とすることによって、成果の有効活用を図る。									
評価指標区分：		・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等							(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：		ホームページ上での動画再生回数									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 500 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,000 回									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
1,846 回		回		回		回		回		回	
269%											